

ジャパンパック 草花用パッケージ開発 BIBも好調 倒れても水漏れなし

ジャパンパック（富山県滑川市。電話 076-476-1750）は、草花用立て式パッケージ「N-フラワー」を開発、今年8月からサンプル出荷している。水を充填しケースが倒れても水がこぼれない構造となっており、地元富山県のチューリップ当たりから実績をつけ、全国に展開する意向。

「N-フラワー」は、防水材でコーティングしたクラフト紙を内側に貼り、フラップをケースが倒れても水がこぼれない構造となっている。花を立てた状態で包装し、下から3～5cm程度水を充填して輸送できるため、比較的時間を要するトラック輸送も可能となる。パッケージは上下二つに分割でき、上だけ外すとその状態で店頭に陳列できるというメリットがある。

従来、ランなどの高級な花は傷みやすく、産地から市場に一本ごとに茎を綿などで包み、水を染み込ませて輸送し、コストと手間がかかっていた。「N-フラワー」はこれらの問題点を解決するもの。

同社では、現在富山県のデザインセンターとタイアップしながら、デザインの製作も進めている。10月頃から本格販売を開始し、月間2万～3万ケースの販売を目指している。

「N-フラワー」などの開発が可能になったのも、昨年末に県からの補助金も得てCADシステムを導入、設置したことが大きいという。サンプル作りが手軽にできるようになったためだ。

環境問題などがフォローとなり、主力商品のバッグ・イン・ボックス（BIB）「N-パック」も好調。月産6万～7万ケースの実績を上げている。今年5月には紙にエンボス加工した断熱段ボールケース「Nクール」も投入した。緩衝材不要の新形態段ボールケース「N-ラップ」と共に展開を強めている。

なお、同社では「N-パック」などを10月16日～18日、韓国・大邱（てぐ）のコンベンションセンターで開催される展示会に、県の一員として出品する予定。

ジャパンパック 草花用パッケージ開発 倒れても水漏れなし

ジャパンパック（富山県滑川市。電話076・476・1750）は、草花用立て式パッケージ「N-フラワー」を開発、今年8月からサンプル出荷している。水を充填しケースが倒れても水がこぼれない構造となっており、地元富山県のチューリップ当たりから実績をつけ、全国に展開する意向。「N-フラワー」は、防水材でコーティングしたクラフト紙を内側に貼り、フラップをケースが倒れても水がこぼれない構造となっている。花を立てた状態で包装し、下から3～5cm程度水を充填して輸送できるため、比較的時間を要するトラック輸送も可能となる。パッケージは上下二つに分割でき、上だけ外すとその状態で店頭に陳列できるというメリットがある。

「N-フラワー」などの開発が可能になったのも、昨年末に県からの補助金も得てCADシステムを導入、設置したことが大きいという。サンプル作りが手軽にできるようになったためだ。



「N-フラワー」

ジャパンパック（富山県滑川市。電話076・476・1750）は、草花用立て式パッケージ「N-フラワー」を開発、今年8月からサンプル出荷している。水を充填しケースが倒れても水がこぼれない構造となっており、地元富山県のチューリップ当たりから実績をつけ、全国に展開する意向。「N-フラワー」は、防水材でコーティングしたクラフト紙を内側に貼り、フラップをケースが倒れても水がこぼれない構造となっている。花を立てた状態で包装し、下から3～5cm程度水を充填して輸送できるため、比較的時間を要するトラック輸送も可能となる。パッケージは上下二つに分割でき、上だけ外すとその状態で店頭に陳列できるというメリットがある。